



4月から入園!

～繰り返す風邪は通過儀礼?～

4月から保育園、幼稚園に通い始めたお子さんも多いと思います。育休明けで職場復帰したお母さんにとっては、これまで一緒にいた子どもと離れる寂しさ、仕事への不安と期待、保育園に通うと色々な病気をもらうのではないかなど、様々な思いが胸を駆け巡るのではないのでしょうか。

実際に、クリニックでも保育園に通うようになって、繰り返して風邪をひく、いつまでも鼻水が止まらないといった訴えで受診するお子さんが増えています。都内の保育園の調査によると、**1歳児では年間平均12回(月平均1回)、3歳以上でも年間平均5~7回(2ヶ月に1回)風邪をひく**というデータがあります。これは、**長時間の集団生活により様々な病原体と接触する機会が増えること、新しい環境によるストレスが免疫力を低下させる**ことが原因です。逆に、集団生活が早い子どもは、年齢が高くなると風邪をひきにくくなるというデータもあります。すなわち、**繰り返し風邪をひくことで、色々な病原体の抗体を作り、抗体を作るレベルを上げている現象**とも言えます。保護者の方も過度に神経質にならず、風邪にかかるたびに免疫ができて抵抗力がついてきていると考えましょう。

エンテロウイルス感染症

4月中旬から、エンテロウイルスに属するコクサッキーウイルスなどの感染症が増えてきました。このウイルスは温暖なところが好きで**夏場に猛威をふるうため、夏風邪とも**呼ばれます。

急な発熱で発症するのが特徴で、**40°Cの高熱**になることもあります。喉の奥に小さな口内炎ができたり(**ヘルパンギーナ**)、手足やお尻に水泡ができたり(**手足口病**)します。発疹や嘔吐下痢などのおなかの症状を伴うお子さんもいます。

エンテロウイルスには**4種類のウイルス**があり、それぞれに多くの型があるため、**型の違うウイルスに感染すると再度かかる**可能性があります。



4月の感染症情報

新型コロナは当院では4月で1人のみの発生でした。新型コロナは終息が近いと思われます。インフルエンザも1週間で5人前後で横ばいの状態です。溶連菌は高いレベルで発生が続いています。RS、ヒトメタが少なくなり、4月後半からヘルパンギーナなどエンテロウイルスが増えています。



4月の利用状況

4月の利用延べ人数は73人、1日平均利用人数は3.5人でした。年齢別では、1歳児が16人で最も多く、次いで2歳児、3歳児、4歳児が同数の12人でした。疾患別では、急性上気道炎が29人で最も多く、次いでインフルエンザ11人、溶連菌感染症の9人の順でした。4月前半はインフルエンザ、後半はRSVやヒトメタニューモウイルス感染症、夏風邪による入室が目立ちました。季節が変化するにつれて感染症の種類が変わっていくのがよくわかります。大型連休で生活リズムを崩しているお子さんもいるかもしれません。天候が変わりやすい季節です。体調を崩さないように気をつけてあげてください。